会 議 録 (要 旨)

	会 議 録(要 旨)
会 議 名	平成27年度第1回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成28年2月22日(月) 14時00分~14時50分
開催場所	403集会室
出席者及び欠席 者	
議題	1 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画の修正について
	議題1について 市長から諮問を受け、廃棄物減量等推進審議会で「武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画」の修正について審議し、修正案のとおり決定し、その結果を答申することとした。
審 議 経 経 経 を 議 見 等 に と し し 、 に ま と し し に ま ま る で の と ま る で の と の と ま る の と ま る で の と ま る で の と も し か る 。)	を続け、継続して稼働予定である。 3 市共同資源物処理施設、不燃・粗大ごみ処理施設、ごみ焼却 施設を三位一体で計画を進めているところである。3 市共同資源

たい。

- 事業総額、武蔵村山市の負担額ともに小平・村山・大和衛生組 合から提示されていない。
- 処理能力243 t/日は、近隣市町村と比較し、大きいものか。 また、排ガス等の基準を満たしているのか。
- 近隣市町村の資料が手元にないため、詳細の処理能力について は回答できないが、環境対策としてダイオキシン等の環境測定を 行っている。基準を超える数値は検出されてない。
- 焼却炉が1炉の場合、緊急時に予備施設が必要になると思うが、予備の焼却施設はあるのか。
- 建設中は、3号炉のみの稼働となるため、処理しきれないごみ に関しては、近隣市町村にごみ処理の支援を依頼する予定であ る。

組合からの提示があった資料には、炉の数や処理方法等の記載はないため、243t/日を上限に廃棄物処理の状況にあわせた計画を進めていく。

- 近隣市町村に焼却処理を依頼する場合、3号炉で処理できない 分の1日の処理量を資料があれば教えていただきたい。
- 現時点での数値は、資料がないためわからないが、一人一日当たりの排出量は減少傾向にあり、今後においても減少予測である。3市合計の総排出量は減少する予測となっているが、武蔵村山市は、人口が増加傾向にあるため、一人一日当たりの排出量は減少しても、総排出量で増加する可能性はある。
- 具体的な根拠資料がないが、各市審議会にて、上限を243 t/ 日に設定した具体的な根拠(数値)について質問がなかったのか。
- 小平市、東大和市ともに審議会は開催されたが、質問があった かどうかは、確認していない。次回会合時に各市に確認すること とする。
- 東大和市はごみの有料化を開始したが、3市合同の後の有料化ではなかったか。
- 東大和市は平成26年10月から家庭ごみの有料化を開始した が、小平市、武蔵村山市は無料回収を継続している。
- 平成24年度の審議会では、排出物原単位が平成29年度まで下がり続けた場合、有料化をしないとの答申をしたが、どうなったのか。
- 今後の小平市等近隣市の状況を鑑み、「平成30年度を目途に、 家庭ごみの有料化を実施するものとする。」という文言を掲載し た。

平成27年度第1回廃棄物減量等推進審議会において、修正案の とおり決定し、答申することとした。

	☑公 開	傍聴者: <u>0 人</u>
	□一部公開	
	□非 公 開	
会議の公開・	※一部公開又は非公開とした理由	
非公開の別		

会議録の開示・ 非 開 示 の 別	☑開 示 □一部開示(根拠法令等: □非 開 示(根拠法令等:)
----------------------	---------------------------------	---

庶務担当課 協働推進部 ごみ対策課(内線:293)

(日本工業規格A列4番)